

2025年頭所感

会長 城田宏明

2025.1.1

2025年の新春を迎えるにあたり、年頭のご挨拶を申し上げます。

1. はじめに

昨年は、元日に能登半島地震が発生し、自然災害の厳しさと向き合う幕開けとなりました。その後も、日本各地で台風や豪雨等が相次ぎ、甚大な被害をもたらしました。また、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が初めて発表され、わが国が自然災害大国であることを改めて強く認識させられる1年となりました。

わが国の経済は、緩やかな回復基調が続く中、日経平均株価が史上初の4万円台を記録するなどの動きも見られました。一方で、ウクライナ、中東等を巡る地政学リスクや物価の動向などにより、不確実性の高い状況が依然として続きました。また、新内閣が発足し、新たな政策の下で日本経済・社会の発展や安定した外交が引き続き期待されています。



損害保険業界においては、一連の不適切事案を受けて、金融庁における「損害保険業の構造的課題と競争のあり方に関する有識者会議」および金融審議会「損害保険業等に関する制度等ワーキング・グループ」が開催され、保険市場に対する信頼の確保と健全な発展に向けた方策について議論が重ねられました。

当協会では、こうした議論の内容を踏まえながら、お客さまと社会からの信頼回復に向けて全力を尽くしてまいりました。一方で、その歩みは未だ道半ばであり、さらなる努力が必要であることを痛感しております。本年も、お客さまと社会からの信頼回復を最優先課題と位置付け、全力で取り組んでまいります。

2. 本年の主な取組み

(1) 信頼回復に向けた取組み

お客さまと社会からの信頼回復に向けて、法令等遵守、顧客本位の業務運営の徹底はもとより、健全な競争環境の実現と適切な保険引受管理態勢の確立などに取り組んでまいります。

健全な競争環境の実現のため、共同保険の新たな組成方式として、シンジケートローンを参考にしたアレンジャー方式と、各保険会社の保険料を統一せずに共同保険を組成するディファレンシャル方式の2つの方式を検討していきます。また、昨年公表した政策保有株式および出向に係るガイドラインを踏まえた業界全体の取組みの実効性を確保するため、フォローアップを継続的に実施いたします。

代理店・募集人の業務品質向上に向けて、当協会に設置した「代理店業務品質評価に関する第三者検討会」の議論を経て取りまとめた「代理店業務品質に関する評価指針」について、本年3月中の完成を目指し、現在の意見公募を実施しております。実効的かつサステナブルな第三者評価制度を構築するため、引き続き検討を深めていきます。

その他、会員会社向け個人情報保護等に係るコンプライアンスセミナーやアジャスター向け不正請求対策セミナー、企業向けリスクマネジメントセミナーなどを実施し、会員会社の取組みを支援していく予定です。

金融審議会「損害保険業等に関する制度等ワーキング・グループ」の議論が終了し、今後、法改正等が見込まれる中、こうした動向も踏まえつつ、引き続き課題解決に取り組んでまいります。

(2) 第10次中期基本計画に関する取組み

第10次中期基本計画に関する取組みに関しましては、「自然災害への対応力強化」「デジタル化推進による利便性向上」「損害保険リテラシーの向上」といった課題に重点を置きながら、各取組みを推進してまいります。

今月17日には、兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）から30年を迎えます。この節目に際し、自然災害への対応力強化の一環として、震災の記憶や教訓を未来へ継承するとともに、事前の備えの重要性について伝える企画「親子で学ぼう、地震への備え ～阪神淡路大震災から30年。みんなで地震後、考えよう～」を神戸で開催いたします。

また、首都直下型地震や南海トラフ地震などの超大規模地震が発生しても、迅速かつ適正な保険金支払を行うため、これまで紙と郵送により実施してきた損害状況申告（自己申告）方式のWeb化の開発を着実に進めてまいります。

さらに、自賠責保険の引受・契約管理業務における業界共通の共同システム「One-JIBAI」については、今年度中の運用開始を目指し、「異動・解約の非対面手続き（ペーパーレス）」「保険料払込みのキャッシュレス」の実現などを通じてお客さまの利便性向上を図ってまいります。

損害保険リテラシーの向上に関しましては、生命保険業界との間で締結した「保険教育に関する包括連携協定」に基づき、民間保険教育教材の共同作成を進めるなど、引き続き国民の皆さまの保険への理解促進に努めてまいります。

3. おわりに

損害保険業界といたしましては、保険が提供する「安心と安全」を通じて、人々の暮らしや新たな一歩を支える存在であり続けるよう、社会インフラとしての役割をこれからも果たしてまいります。

真に社会から必要とされる業界を目指し、当業界の役割を常に肝に銘じながら、この一年、決意を新たに変革に取り組む所存です。

本年が皆さまにとって素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

以上